

東大野球部

New! メールマガジン

Vol.76

「あつむ」
炎暑のしがたいこのごろですが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

東京大学野球部では今日で試験オフが終わり、明日からはまた練習に励む日々です。夏の間に関西遠征、オープン戦で実戦経験を積み、秋季リーグ戦で勝てるチームを作るべくがんばってまいりますので、皆様是非球場へ足をお運びください。

今後とも温かいご声援の程、よろしくお願い申し上げます！

今後の予定

〈夏季オープン戦〉

7月27日 12:00～

vs ゴールドジム野球部@東大球場

28日

10:30～vs 横浜商科大@横商大G

13:30～vs 横浜商科大@横商大G



僕の野球人生①

今回から、4年生部員に「僕の野球人生」と題して、今までの野球人生を振り返って思うことや、野球にかける想いなどを語ってもらいます。第1回目は、嘉藤慎作選手と畠山征也選手を特集いたします。

嘉藤 慎作（4年・副将・投手・土佐）

僕は物心ついたときから野球が好きで、小2の頃にチームに入り、以降15年ほど野球を続けてきました。

高校ではチームメイトに恵まれて県大会で優勝を経験させてもらいました。甲子園こそ出られませんでした。強豪でやってきたという自負はあります。だから東大野球部に入り、勝つことの難しさを味わって、打ちのめされた気分でした。

ところで、僕はずっと控え選手でした。運がいいのか悪いのか、僕のいたチームには必ず2、3人は速球投手がいました。お陰でチームは勝つのですが、球の遅い僕は試合には出られません。トーナメントなのでしょうがないのですが、

どんなにやっても自分には速い球は投げられませんでした。大学はリーグ戦であり、様々な投手の需要があるので、短いイニングでもいいから出たい、そんな気持ちで、今のようスタイルになりました。

今では工夫を重ねれば、どんな選手でもそれなりに存在感を示せる、そんなことを後輩に伝えたい一心で残りの日々、練習しています。

秋は誰よりも遅い球を、臆することなく、堂々と甲子園のスター相手に投げ込んでやりたいと思います。



畠山 征也(4年・内野手・半田)

僕が野球に出会ったのは3歳の頃で、気がついたら野球をしていたという感じでした。

当たり前のように野球を始め、暇さえあれば野球という野球中心の毎日を送っていました。だから小さい頃から野球を続けたいし、大きくなっても続けていくのだろうと漠然と考えていました。

でもそれは当たり前のことではなくて、とても幸せなことだと今感じます。当たり前のように野球を続けさせてくれた両親と、高め合った仲間感謝しています。

そんな野球中心の毎日だったので、楽しいことも苦しいこともほとんどが野球に関することだったような気がします。

努力の結果、優勝できたこと、努力しても上手くいかず涙を流したこと。今ではそれはどれもいい思い出で、この野球人生での経験やそこから学んだことをこれからの人生で生かしていきたいと思っています。

大学での野球生活は残りわずかとなりましたが、悔いの残らないよう最後まで精一杯頑張ります。



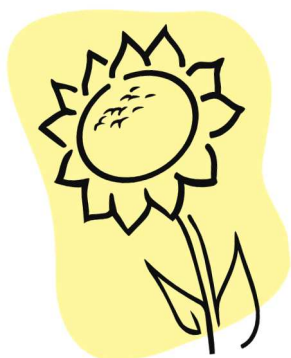
編集後記

今回の特集はいかがでしたか。

部員の多くは今月末で大学の試験を終えて夏休みに入り、野球に存分に打ち込める環境となります。4年生にとっては最後のシーズンとなる秋季リーグ戦で必ずや勝利を掴めるよう、この夏にしっかりと力をつけて参ります。

今週末にもオープン戦を予定しております。ぜひ東大球場で厳しい暑さに負けず奮闘する選手達をご覧ください。

今後とも東大野球部をよろしくお願い致します。



お問い合わせ先

〒113-0023

東京都文京区向丘1-5-9 一誠寮

TEL&FAX 03(3811)5100

メールアドレス office@tokyo-bxc.net

メルマガについてのご意見、配信停止のご希望が

ございましたら上記連絡先までご連絡下さい。

次回のメルマガでは飯嶋選手、窪田選手、紺野選手を特集する予定です。どうぞお楽しみに！